

和歌の英訳から考える言語と文化

京都大学大学院総合生存学館 国際開発研究会ワークショップ

和歌って英訳でも通じるの？、言語ってなぜ消滅してはいけないの？、勉強する意味って？

国際開発研究会では国際社会が直面する問題について、その現状や課題を様々な観点から議論しています。

今回のワークショップのテーマは「言語と文化」です。現在、言語の消滅が世界中で起こっています。言語がなくなると、それと密接に繋がっている文化はどうなってしまうのでしょうか。日本には和歌という言語文化が存在します。英詩の研究者である桂山康司先生と日本語学の研究者である佐野宏先生をお招きして、和歌の翻訳を通じて「言語と文化」の繋がりについて議論します。

ゲスト 桂山康司教授、佐野宏教授

日時 十二月十一日（日）

午前九時半～十一時半



ゲスト

桂山康司教授

ゲスト

佐野宏教授

日時 十二月十一日（日）

午前九時半～十一時半（受付九時～）

会場 法雲寺 日照庵（京都市北区西賀茂鎮守菴町30-1）

参加費 無料

申込 QRコードか下記リンクから Google Form で申込
<https://forms.gle/qANSSHPrnqT7AEtG6>

参加申込締め切り 十一月三十日（水）

内容

対談、英語での百人一首大会、和歌の英訳
体験、ディスカッション

お問い合わせ先 京都大学大学院総合生存学館

国際開発研究会

メール idrg-gsais@googlegroups.com



京都大学 大学院 総合生存学館
思修館